

キャリアデザインセンターPBL活動中

学生が主体的に社会的課題の解決に挑戦するPBL(Project Based Learning)課題解決型学習。本学キャリアデザインセンターは、専修リーダーシップ開発プログラム、課題解決型インターンシップ、専大ベンチャービジネスプログラムの三つのPBLプログラムを展開している。それぞれ5月から今年度の活動が始まり、参加学生が意欲的に課題に向き合っている。活動の一端を紹介しよう。

リーダーシップ開発プログラム

企業と協働 社会で活躍

リーダーシップ開発プログラムは、2013年度から始まり、5期目の今年度は全学部から29人が受講している。毎週の連続2コマの講義と、企業と協働したテーマ活動が活動の柱。講義では学内外から講師を招き、グループワークを中心に学んでいる。チームを組んで取り組むテーマ活動では5社と

協力のうち富士ゼロックス(本社・東京都港区)の社会貢献活動に5人が参加している。同社は今年、神奈川県南足柄市とともに「南足柄市ととも」に「南足柄市が活動の柱」を開設した。このなかでリーダーシップ開発プログラムの挑戦しているのが「インクルーシブ教育」と「防災」だ。インクルーシブ教育は、障がいにかかわらずだれもが同じ教室で学ぶこと。二つを組み合わせて何かできないか、学生に提案した」と同社復興推進室の山田敏哉さん。学生たちがひねり出したのが「防災すごろく」。遊びを使って避難所の疑似体験をするというアイデアだ。

8月上旬、横浜市の同社オフィスで打ち合わせが行われた。緊張気味の学生たちに、山田さんが進捗状況を質問する。口調は優しいが核心を突いた問いに、言葉を詰まらせる場面も少なくない。打ち合わせの中盤、山田さんが防災対応ゲームを紹介した。災害発生時の行動について、「イエス/ノー」を選択し、理由を説明する。実際に何問かやってみることに。真剣に悩みながらも、ゲームが進むうちに、くつろいだ雰囲気になっていった。こんなゲームもありますからね。すごろくを作るイメージが湧きましたか?との山田さんの一言に、学生はハッとした表情を見せた。



活動計画を報告する学生たち=8月8日、横浜市の富士ゼロックス

7月22日には生田キャンパス近くで民家園通り商店会夏まつりが開催された。課題解決型インターンシップのメンバーはこども広場を任された。初めての取り組みとして水遊びを企画。お面とマントを着けた学生をやっ

は「多様な他者を理解し目的を実現するために他者と協働していく能力」と定義する。多面的な見方を示し、次の行動を示唆する山田さんの姿勢に学生たちは自分たちの求めるリーダーシップを感じていた。松丸明日香さん(文)は「大学で何かしたいと思えばプログラムを受講した。いろいろな考えを知ることができて刺激になる。活動を通して成長したい」と瞳を輝かせる。今後南足柄市の関係者らと意見を交わしていき、成果を形にすべく奮闘を続ける。

課題解決型インターンシップは、地域の企業や団体が抱える課題に対して解決策を提案する本学独自の長期インターンシップで、今年度は23プロジェクトが展開している。7月22日には生田キャンパス近くで民家園通り商店会夏まつりが開催された。課題解決型インターンシップのメンバーはこども広場を任された。初めての取り組みとして水遊びを企画。お面とマントを着けた学生をやっ

つげようと、子どもが水鉄砲を抱えて駆け回る。猛暑日の午後、ずぶぬれの子どもの笑顔がはじけた。リーダーの五十嵐純希さん(経済3)は「一から企画を考え、やり抜くことの難しさを知った。地元の方々から楽しんでくれてよかった」と充実した表情を見せる。

ベンチャービジネスプログラムは、起業家精神を養成することを目的にしている。前期にスタートイベントと、ビジネスプランの作り方を基礎から学べる講座を開催した。また、今年度初めて、ブラッシュアッププログラムを実施。学生が思いついたアイデアに対して、専大卒の経営者らが個別に指導した。プログラムの到達点であるベンチャービジネスコンテストは、書類審査とプレゼンテーション大会で構成する。最優秀賞は賞金30万円。応募は個人、団体問わず、前期の講座を受講していなくてもかまわない。ビジネスプランの応募締め切りは10月17日(火)。

「多様な他者を理解し目的を実現するために他者と協働していく能力」と定義する。多面的な見方を示し、次の行動を示唆する山田さんの姿勢に学生たちは自分たちの求めるリーダーシップを感じていた。松丸明日香さん(文)は「大学で何かしたいと思えばプログラムを受講した。いろいろな考えを知ることができて刺激になる。活動を通して成長したい」と瞳を輝かせる。今後南足柄市の関係者らと意見を交わしていき、成果を形にすべく奮闘を続ける。

「多様な他者を理解し目的を実現するために他者と協働していく能力」と定義する。多面的な見方を示し、次の行動を示唆する山田さんの姿勢に学生たちは自分たちの求めるリーダーシップを感じていた。松丸明日香さん(文)は「大学で何かしたいと思えばプログラムを受講した。いろいろな考えを知ることができて刺激になる。活動を通して成長したい」と瞳を輝かせる。今後南足柄市の関係者らと意見を交わしていき、成果を形にすべく奮闘を続ける。

「多様な他者を理解し目的を実現するために他者と協働していく能力」と定義する。多面的な見方を示し、次の行動を示唆する山田さんの姿勢に学生たちは自分たちの求めるリーダーシップを感じていた。松丸明日香さん(文)は「大学で何かしたいと思えばプログラムを受講した。いろいろな考えを知ることができて刺激になる。活動を通して成長したい」と瞳を輝かせる。今後南足柄市の関係者らと意見を交わしていき、成果を形にすべく奮闘を続ける。

「多様な他者を理解し目的を実現するために他者と協働していく能力」と定義する。多面的な見方を示し、次の行動を示唆する山田さんの姿勢に学生たちは自分たちの求めるリーダーシップを感じていた。松丸明日香さん(文)は「大学で何かしたいと思えばプログラムを受講した。いろいろな考えを知ることができて刺激になる。活動を通して成長したい」と瞳を輝かせる。今後南足柄市の関係者らと意見を交わしていき、成果を形にすべく奮闘を続ける。

本プログラムで追求するリーダーシップとは周囲を強引に引っ張る力ではない。「多様な他者を理解し目的を実現するために他者と協働していく能力」と定義する。多面的な見方を示し、次の行動を示唆する山田さんの姿勢に学生たちは自分たちの求めるリーダーシップを感じていた。



講義では多様性を生かすすべなどについて学んだ=6月29日、生田キャンパス

初開催のスタートイベントでは、昨年の最優秀賞受賞者の講演があった=5月19日、生田キャンパス

映像制作した経営学部ゼミナール連合会のメンバー

映像制作した経営学部ゼミナール連合会のメンバー

経営学部生の日常を描いたという動画の一場面

経営学部生の日常を描いたという動画の一場面

経営学部生の日常を描いたという動画の一場面

ベンチャービジネスプログラム OB経営者らの指導も



初開催のスタートイベントでは、昨年の最優秀賞受賞者の講演があった=5月19日、生田キャンパス

映像制作した経営学部ゼミナール連合会のメンバー

映像制作した経営学部ゼミナール連合会のメンバー

経営学部生の日常を描いたという動画の一場面

経営学部生の日常を描いたという動画の一場面

映像で学部の魅力紹介

経営ゼミ連合会が制作

経営学部ゼミナール連合会が、学部を紹介する映像を制作し、本学ホームページで公開している。高校生をターゲットに、学生目線で経営学部の魅力を伝える。制作にあたっては、3年次生は「経営学部」の面白さを知ってもらいたい」と話している。

経営学部の学びについて学生目線で高校生に訴えたいという小沢(ゼミ)のアイデアで、学

経営学部の学びについて学生目線で高校生に訴えたいという小沢(ゼミ)のアイデアで、学

経営学部の学びについて学生目線で高校生に訴えたいという小沢(ゼミ)のアイデアで、学

食べたいカップ麺提案 高校生の経営学実践講座



「高校生のための経営学実践講座」が8月6日、生田キャンパスで開催された。12回目となる今回は、日清食品の協力を交えたプレゼンテーションを行った。

「友達とシェアして食べたい」というのは私たちに

「友達とシェアして食べたい」というのは私たちに

「友達とシェアして食べたい」というのは私たちに

「友達とシェアして食べたい」というのは私たちに

「友達とシェアして食べたい」というのは私たちに

「友達とシェアして食べたい」というのは私たちに

「友達とシェアして食べたい」というのは私たちに